

# ALINCO

<span></span>	デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品） <p>AMBE方式 / Bluetooth Module XE1134 内蔵 無線局種別コード：3R/3T（登録局） 専用スマートフォンアプリ無線対応</p>
<span></span>	<b>DJ-DPS72W</b> <h2>簡易取扱説明書</h2>
<span>&lt;</span> 注意 <span>&gt;</span>	<ul style="list-style-type: none"><li>本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。</li> <li>音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™以外の無線機とは通話できません。</li> <li>Bluetooth ユニットを搭載しますがアプリ無線接続用です。別売のワイヤレスマイク類は本機ではお使いになれません。</li></ul>

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書と安全上のご注意を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

<b>ALINCO</b>	<b>アルインコ株式会社</b>	<b>電子事業部</b>
支店・営業所とサービスセンター(SC)		
東京 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階	TEL.03-3278-5888	
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番24号 いちご丸の内サウスビル3階	TEL.052-212-0541	
大阪 / SC 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイヤビル13階	TEL.06-7636-2361	
福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコビル2階	TEL.092-473-8034	
	アフターサービスに関するお問い合わせは	
	お買い上げの販売店または、フリーダイヤル <b>☎0120-464-007</b>	
	全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります	
	受付時間 / 月曜 ~ 金曜 10：00 ~ 17：00（土日祝・休業日と12：00～13：00は除きます。）	
	ホームページ <a href="https://www.alinco.co.jp/">https://www.alinco.co.jp/</a> >事業案内>電子事業部 をご覧ください。	
	Bluetoothのワードロゴ及びロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。	
本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、		PS1131A
または全部を無断で複写/転用することは禁止されています。		FNFH-NH
This product is intended for use only in Japan.		Copyright Alinco,Inc.

## ◆◆◆ 使用上のご注意 ◆◆◆

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を無断で使用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになります。上空での使用は違法で罰せられます。規格の違いから、海外では使えません。
- 届け出た住所やお客様の名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m 程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書や詳細取扱説明書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

■本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。

■本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。

■本機は米国 DVSI 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™を使用した他のデジタル簡易無線（種別コード：3R/3T）との互換性を確保していますが、AMBE+2™以外の音声圧縮技術（RALCWI 方式など）を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

■Important

This product is permitted to use for business, leisure and hobby communications within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. A Radio-user fee will be charged annually by a government agency. In case you change registered contact information such as address and name, you should report it to the authority. For any registration-related information, please contact your dealer or a regional Bureau of Telecommunications of the Ministry of General Affairs of Japan. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine and/or punishment.

### 外郭保護性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP64/65/67/68 規格の耐塵防水試験に合格しており、適合するアクセサリ、アンテナ、バッテリーパックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりしたときはすぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いになれます。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じとさせていただきます。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。耐久性は米軍規格 MIL-810 の振動と衝撃規格で確認済です。衝撃は落下ではなく、急ブレーキや急発進時にかかる G（重力加速度）を想定した規格です。IP6X 耐塵：既定の条件下で塵やほこりが内部に入らないこと IPX4/5 耐飛沫・噴流：既定の条件の飛沫や噴流水を掛けても有害な影響が生じないこと IPX7 防浸：真水・静水に水深 1.0m の位置で 30 分間浸しても有害な影響を生じないこと

#### Bluetooth® について

本機に内蔵している Bluetooth Module (XE1134) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でたく禁じられています。電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■2.4GHz 現品表示記号の意味について

[2.4]：2.4GHz 帯を使用する無線設備

[FH]：FHSS 方式

[1]：想定干渉距離が 10m以下

[--]：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避可

■Bluetooth の登録商標 / 著作権について

Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

#### 付属品一覧

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

□本体

□Li-ion バッテリーパック EBP-198(7.2V 2200mAh)

□シングル充電スタンド EDC-326R

□AC アダプター EDC-215

□ベルトクリップ(装着済)EBC-46　ビス 2 本付

□ミドルアンテナ EA-247

□簡易取扱説明書

□安全上のご注意

□申請書類一式

□保証書

●**注意** 保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

※弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は製品保証の対象外です。アクセサリ専門メーカーの製品については、そのメーカーに直接お問い合わせください。他社製品に起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

### アンテナの取付け、取外し方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。

外すときは反時計方向（左）に回します。

●**注意** 本機に接続できるアンテナは、本機の技術基準適合証明を受ける際にあらかじめ弊社が届け出をした形状と利得のアンテナに限られます。新しく発売される市販品には対応しない場合があります。アンテナについては弊社 HP の本機の製品紹介ページでご説明しています。

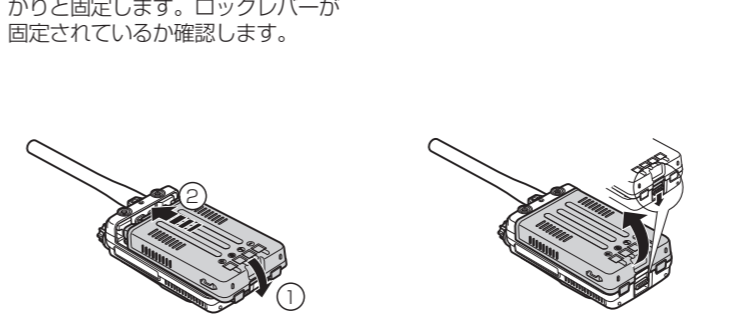
#### バッテリーパックの取付け、取外し方法

■取付け方

バッテリーパックを本体のツメに合わせ、矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。

■取外し方

本体のロックレバーを押ししてバッテリーパックをスライドさせて取外します。

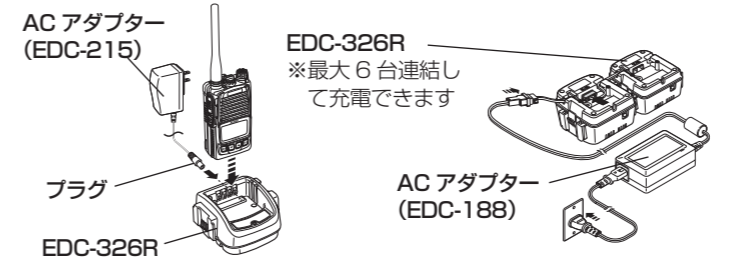


### バッテリーパックの充電

●**注意**

- バッテリーパックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。
- 本機専用の AC アダプターと充電スタンド以外の使用は危険です。絶対におやめください。
- 長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。（過充電）
- バッテリーパック及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。（この際に充電端子を変形させないようにご注意ください。）

充電スタンドと AC アダプターを図のように接続してバッテリーパックを充電します。充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。



●**参考**

- Li-ion バッテリーパックの保存で最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態です。長期保存するときは表示の電池マークが1目盛減っているのを目安にし、本体から外して乾燥した冷暗所に保管してください。1か月を目安に本体に装着して状態を確認、電池マークが空になったら1時間程度補充充電してください。
- Li-ion系充電池は使用・保存状態にかかわらず、数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3年を目安、長くても5年以内に新品にご交換ください。
- 充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-198 は約3時間です。充電時間は周囲の温度で変動します。
- 充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、バッテリーパックを無線機から外して単体で充電してください。
- 非常時の備蓄用などでバッテリーパックを装着した状態で長期保管するときは、週に一度は本体から外して液漏れや放電していないことを確かめてください。待機電流のためバッテリーパックは徐々に放電します。

## バッテリーパックのリサイクルについて

古くなったバッテリーパックは金属端子にテープ（セロハンテープ、ビニールテープ、ガムテープなど）を貼り、電流が流れない状態（絶縁）にしてからお住まいの自治体の指示に従ってリサイクルしていただくか、本書に記載のサービスセンターへご相談ください。

### 運用時間

いずれも弊社規定の測定条件にて（\*1）

	バッテリーセーブ有効時	バッテリーセーブ無効時
Bluetooth オン	約 11 ～ 13 時間 (*2)	約 11 時間
Bluetooth オフ	約 15 時間	約 11.5 時間

(\*1) 送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返しです。(\*2) アプリ受信中は、安定した受信のためバッテリーセーブが無効になります。そのため運用時間が変動します。

名称	機能
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に戻ります。
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。
イアプリ無線とデジタル簡易無線共通	緑点灯：受信中 <p>赤点灯：送信中</p> <p>水色点滅：短縮キーで音量固定中</p> <p>白フラッシュ：緊急通報送信または受信</p> <p>黄フラッシュ：電池電圧低下</p>
デジタル簡易無線として使用した時	紫点灯：接客モード動作中 <p>紫フラッシュ：イヤホン断線検知</p> <p>青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時）/ 未読メッセージあり</p>
アプリ無線として使用した時	青早い点滅：ペアリング中 <p>青早い 2 回点滅：Bluetooth 未接続状態</p> <p>青遅い点滅：Bluetooth 接続状態</p> <p>水色点灯：アプリ無線受信中、ガイダンス中</p> <p>黄点灯：アプリ無線送信中</p> <p>水色緑交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信中</p> <p>黄赤交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時送信中</p>
機能キー	押すとセットモードになります。項目の設定にも使います。
キーボード	セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。長押しでキーロック設定 / 解除ができます。また、セットモードで他の機能に割り当てられることもできます。
▼/▲キー	チャンネル変更、各設定項目の UP/DOWN、セットモードで同時押しに短縮機能を割り当てることができます。

名称	機能
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に戻ります。
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。
イアプリ無線とデジタル簡易無線共通	緑点灯：受信中 <p>赤点灯：送信中</p> <p>水色点滅：短縮キーで音量固定中</p> <p>白フラッシュ：緊急通報送信または受信</p> <p>黄フラッシュ：電池電圧低下</p>
デジタル簡易無線として使用した時	紫点灯：接客モード動作中 <p>紫フラッシュ：イヤホン断線検知</p> <p>青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時）/ 未読メッセージあり</p>
アプリ無線として使用した時	青早い点滅：ペアリング中 <p>青早い 2 回点滅：Bluetooth 未接続状態</p> <p>青遅い点滅：Bluetooth 接続状態</p> <p>水色点灯：アプリ無線受信中、ガイダンス中</p> <p>黄点灯：アプリ無線送信中</p> <p>水色緑交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信中</p> <p>黄赤交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時送信中</p>
機能キー	押すとセットモードになります。項目の設定にも使います。
キーボード	セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。長押しでキーロック設定 / 解除ができます。また、セットモードで他の機能に割り当てられることもできます。
▼/▲キー	チャンネル変更、各設定項目の UP/DOWN、セットモードで同時押しに短縮機能を割り当てることができます。

